

「普通」をカッコ良く

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今月のお題は『『普通』をカッコ良く』でいきます。

よく、「業界の常識は世間の非常識」なんて言葉を耳にします。それぞれの業界(会社)にはそれぞれの常識があり、他所(他社)から入ってくると面食らう事があります。



代表取締役社長 吉田治伸

今でこそ大変良くなりましたが、10年前入社した時・挨拶しない・電話に速く出ない・クレームは謝るだけで直さない・(文句を言われるのが嫌だから)お客様訪問はしない……当社の雰囲気到大変面食らいましたが、業界全体として似たようなものでした。

先日、当社の警備現場で対極のような場面に遭遇しました。

- ・ 受付で出入り監視をしている警備員が勤務交代する時、受付の女性にきちんと敬礼をして交代していました。・・遠くで見えていましたがカッコ良いなあと思いました。
- ・ 駐車場の整備をしていた警備員が無帽で制服もだらしない感じで、白いスニーカーで動き回っていました。・・何となくしまりのない感じです。

当社も「会社の常識」は本来あるのですが、ご契約先、ご担当者、部門長、責任者・・の意向によって「常識」が変化してしまっている場合があります。しかし、どんな風に言われてもカッコ良いものはカッコ良いし、カッコ悪いものはカッコ悪いのです。(背筋がピンと伸びている人はカッコの良いものです。)我々が「普通」に行っているサービスの価値を上げるため、働いている人の価値を上げるためには、カッコ良さは大変重要な事です。

お互いに服装、姿勢、言葉・・を確認しあって、カッコ良く変化しませんか？
また、「こうすればカッコ良いのに」なんて意見があったら是非言ってください。

お待ちしております。